

国際植物防疫年（IYPH2020） における農林水産省の取組報告

令和3年7月

MAFF
農林水産省



INTERNATIONAL YEAR OF
PLANT HEALTH

2020

**PROTECTING PLANTS,
PROTECTING LIFE**

はじめに（国際植物防疫年について）

2020年は国連により定められた国際植物防疫年（International Year of Plant Health 2020 : IYPH2020）でした。植物病害虫のまん延防止に向けた取組の重要性に対する世界的な認識を高めることを目的として、国連食糧農業機関（FAO）を中心に世界的に広報活動が行われました。なお、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、FAOはIYPH2020を2021年7月1日まで延長しました。農林水産省においても、IYPH2020の取組として、植物病害虫の侵入・まん延防止の重要性周知するための広報活動を実施しましたので、その内容を紹介します。

（本稿で月又は月日のみの記載の場合は2020年内を指します。）

1. オフィシャルサポーター制度

（1）概要

2019年11月～2021年6月まで、農林水産省が「国際植物防疫年2020オフィシャルサポーター」として企業、団体、大学を認定し、植物防疫の重要性を周知する活動を協力して実施しました。合計で33の企業等をオフィシャルサポーターとして認定しました。

サポーターの主な取組としては、ホームページでの情報発信（24）、広報誌での周知（13）、社員研修やセミナーの開催（8）、配布物へのロゴ掲載（7）、旅客機内の映像コンテンツ放映、見本市等での紹介、大学での講義等が実施されました（括弧内はサポーター数）。サポーターの社員、顧客、会員等に幅広く周知が行われ、「植物防疫の重要性を認識した」、「植物防疫の具体的な取組を理解した」等の反応があったことが報告されました。具体的な取組内容は、オフィシャルサポーター制度のホームページで紹介しています。

https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/iyp/iyp_hos.html

国際植物防疫年2020オフィシャルサポーター



東京植物検疫協会
Tokyo Plant Quarantine Association

カネコ種苗株式会社

一般社団法人
全国植物検疫協会
Japan Plant Quarantine Association

一般社団法人
日本種苗協会

Communication Firm ZENSHIN
株式会社 全新企画社

株式会社 タカヤマシード

一般社団法人 神戸植物検疫協会
Kobe Plant Quarantine Association

法政大学
HOSEI University

全農

Japan
Crop Protection
Association

ANA

一般社団法人 日本くん蒸技術協会

三井化学アグロ株式会社

ARID LAND RESEARCH CENTER
TOTTORI UNIVERSITY

公益財団法人
中央果実協会

全国共同出版

一般社団法人
岡山県植物検疫協会

九州植物検疫協会

日本曹達株式会社

農研
東京農業大学

自然を、おいしく、楽しく。
KAGOME

北興化学工業株式会社

公益財団法人 Public Interest Incorporated Foundation
報農会 (Hono-Kai)

JAL
JAPAN AIRLINES

Nissan Chemical
CORPORATION
日産化学株式会社

大阪植物検疫協会
一般社団法人
大阪植物検疫協会

三州産業株式会社

株式会社 武蔵野種苗園

TAT 国立大学法人
東京農工大学
Tokyo University of Agriculture and Technology

日本農業学会 第46回大会



○国際植物防疫年オフィシャルサポーター一覧（申請順）

日本青果物輸出促進協議会、東京植物検疫協会、カネコ種苗株式会社、一般社団法人全国植物検疫協会、一般社団法人日本種苗協会、株式会社全新企画社、株式会社タカヤマシード、一般社団法人神戸植物検疫協会、法政大学植物医科学センター、法政大学生命科学部応用植物科学科、全国農業協同組合連合会、農業工業会、ANAホールディングス株式会社、一般社団法人日本くん蒸技術協会、三井化学アグロ株式会社、国立大学法人鳥取大学乾燥地研究センター、公益財団法人中央果実協会、全国共同出版株式会社、一般社団法人岡山県植物検疫協会、九州植物検疫協会、日本曹達株式会社、東京農業大学、カゴメ株式会社イノベーション本部、北興化学工業株式会社、公益財団法人報農会、日本航空株式会社、日産化学株式会社、一般社団法人大阪植物検疫協会、三州産業株式会社、株式会社武蔵野種苗園、東京農工大学農学研究院 生物制御科学部門、日本農業学会第46回大会組織委員会、日本植物病理学会

(2) 具体的な取組例

【機内広報】

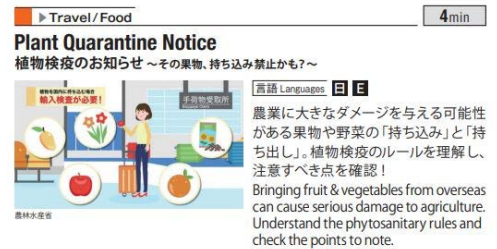
- 旅客機の機内誌で植物防疫が紹介されるとともに、機内映像コンテンツで広報ビデオが放映され、利用客に対して植物防疫についての周知が行われました。
(ANAホールディングス株式会社：翼の王国 5月号、日本航空株式会社：SKYWARD 5月号、機内映像コンテンツ（国内線：10月～12月、国際線：9月～12月））



ANA「翼の王国 5月号」



JAL「SKYWORD 5月号」



JAL機内映像コンテンツ紹介画面

【見本市】

- 農業見本市において、IYPH2020のポスター掲示及び国際年の主旨が紹介されました。
(1月、カネコ種苗株式会社)



見本市でのポスターの掲示

【社員研修】

- 社員向けワークショップにおいて、農林水産省の職員によるプレゼンテーションが行われ、植物防疫の重要性の説明が行われました。
(2月、日本航空株式会社、生物多様性ワークショップ)



JAL生物多様性ワークショップ

【機関誌】

- 関係団体の機関誌等において、IYPH2020に関する記事が掲載され、業界関係者向けに植物防疫の重要性が周知されました（1月、一般社団法人全国植物検疫協会「全植検協通報」、3月、一般社団法人日本くん蒸技術協会「日くん協だより」、3月、公益財団法人中央果実協会「中央果実協会ニュースレター」）



「中央果実協会ニュースレター」

「日くん協だより」

【大学講義】

- 大学講義において、IYPH2020や植物防疫に関する情報が発信され、学生に対し植物防疫の意義や目的、重要性が周知されました（法政大学生命科学部応用植物科学科、東京農業大学農学部および国際食糧情報学部）。

2. その他機関との連携

【日本農業新聞における紙面企画】

10月5日、IYPH2020を記念して、日本農業新聞により植物防疫をテーマにした紙面企画が掲載されました。政策、病虫害、総合的病虫害管理、輸出入検疫、教育等に関する有識者から、各分野の課題や今後の対応が紹介されました。

また、紙面企画以外でもIYPH2020の取組に関する記事が新聞に掲載されました（1月4日及び5月3日、日本農業新聞）。



日本農業新聞紙面企画

【主要国際空港の管理会社HPでのバナー掲載】

農林水産省では、主要国際空港の管理会社（成田、羽田、中部）と連携し、空港ホームページにIYPH2020のバナーを掲載し、空港利用者に対して植物防疫に関する周知を行いました。

また、植物防疫に関する業界向け雑誌にIYPH2020に関する記事を寄稿し、植物防疫に関する情報発信を行いました（3月、「月刊植物防疫」）。



空港ホームページのバナー

3. 国際植物防疫年記念切手の発行



10月5日、IYPH2020を記念して植物検疫をデザインした記念切手が発行されました（500万枚（50万シート））。日本郵便の切手デザイン発表（8月5日）に合わせ、農林水産省においてもプレスリリースを行うとともに、農林水産省SNSにより情報発信しました。また、発行日にSNSによる情報発信を行い、幅広い範囲の方に植物防疫年であることを周知しました。

発行後は国際機関のSNSやホームページでも日本の記念切手が紹介されました。SNSでは、旅行に行けない時期だから購入したくなったとのコメントもありました。



農林水産省Twitter



FAO駐日連絡事務所Twitter



国際植物防疫年2020記念切手

4. 農林水産省ホームページ、テレビ番組、SNS等による情報発信

【ホームページ】

農林水産省において、IYPH2020のホームページを開設し、IYPH2020の背景・趣旨、植物防疫に関する情報を発信しました（2019年11月～2021年6月末までの累計アクセス数：55,421）。

(<http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/iyp/h/iyp.html>)



IYPH2020のホームページ

【テレビ番組】

1月11日に政府広報テレビ番組（BS）「その果物と野菜持ち込み禁止です！」が放送され、幅広い視聴者に植物防疫の重要性が周知されました。当番組については、農林水産省ホームページ、SNS、インターネットバナー広告でも動画を紹介し、情報を発信しました。



政府広報テレビ番組

【SNS】

農林水産省SNSで広く一般に植物防疫に関する情報を発信するとともに、農業担い手メールマガジンにIYPH2020及び植物防疫に関する情報を掲載し、農業関係者向けに植物防疫に関する制度等を周知しました（Twitter：1/17、5/27、6/4、8/5、10/5、11/18、Facebook：1/21、8/5）、メールマガジン：5月及び6月）。



農林水産省Twitter（6月4日）



農林水産省Facebook（1月21日）

【子供向け広報】

2020年の夏休み期間中に開設された農林水産省の子供向けウェブコンテンツ「夏まふり」*に植物防疫のページを作成し、植物防疫に関する動画、漫画、ゲーム、研究シート等を掲載し、小中学生やその親を中心に植物防疫に関する情報を発信しました（ページビュー数：2591（全22コンテンツ中3位））。

*新型コロナウイルス感染拡大により「こども霞が関見学デー」が中止になったことを受け、農林水産省が独自で開催した子供向けウェブコンテンツ（2020年7月31日～8月31日）



「夏まふり」植物防疫のページ

【駅前映像広告】

10月～11月、さいたま新都心駅（1日平均乗員人員約55,000人）前に大型映像広告を掲載し、駅利用者によりYIPH2020であることを周知しました。

【バナー広告】

政府広報インターネットバナー広告を掲載し、幅広い閲覧者にYIPH2020であることを周知しました（読売新聞（1月13日～1月19日）、Yahoo!（11月30日～12月6日））。

Yahoo!バナー広告を掲載した12月はYIPH2020ホームページへのアクセス数が顕著に増加（15,901アクセス）し、バナー広告の効果が認められました。

ショートまんが

おみやげに植物を海外から持ち込むとどうなるの？

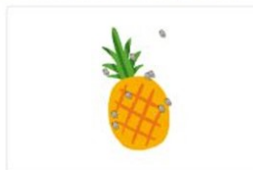


おみやげに植物を持ち込むと…？_その1(PDF: 1,371KB)

ショート漫画の連載

ゲームに挑戦（ちようせん）！何秒でやつつけられるかな？

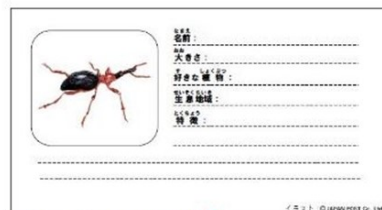
パイナップルの害虫「コナカイガラムシ」をやっつけよう！



コナカイガラムシについて(PDF: 217KB)

ゲーム

調べてみよう！世界の虫



研究シート(PDF: 817KB)

いろんな害虫を調べて自分だけの研究シートを作ろう！

研究シート



さいたま新都心駅前映像広告



Yahoo!バナー広告

【SNSによる国際フォトコンテストの紹介】

FAOにおいてIYPH2020の国際フォトコンテストが開催され、2021年7月1日のIYPH2020クロージングイベントにおいて、健全な植物部門、健全でない植物の部門それぞれ10作品が発表されました。2021年7月9日、農林水産省のTwitterでIYPH2020が終了したことをお知らせするとともに、受賞作品のうち4作品を紹介しました。



農林水産省Twitter（7月9日）

5. さいごに

植物防疫に係る措置の円滑な実施のためには、国民の皆様にもその必要性について十分に理解頂くことが重要です。IYPH2020においては、民間企業や関係団体、大学等と連携し、植物防疫の周知に取り組みました。今後、これらの関係機関とも引き続き連携し、IYPH2020の成果も踏まえた上で、一層、植物防疫に関する国民の理解醸成の取組を促進していきたいと考えます。